

健康・福祉のつづき

成人講演会「気管支ぜん息・COPD(慢性閉塞性肺疾患)についてもっと知りましょう！」

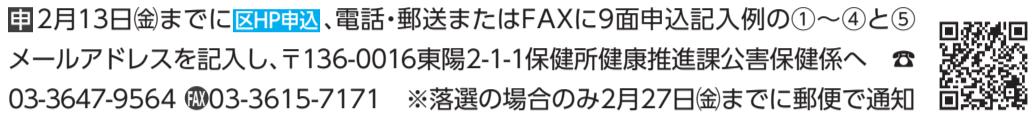
気道が慢性的な炎症を起こして細くなり、呼吸機能が妨げられる気管支ぜん息と、たばこが主な原因で息切れ、せき、たんなどの症状を起こすCOPD。フレイル(加齢により心身が衰えた状態)との関連性も含めて、専門医が治療法や自宅での健康管理の方法をわかりやすくお話しします。

日3月6日(金)10:00~11:45(受付9:30~) 場江東区文化センター

定100人(抽選) 講師藤井充弘(江東病院呼吸器内科部長)

申2月13日(金)までに区HP申込、電話・郵送またはFAXに9面申込記入例の①~④と⑤

メールアドレスを記入し、〒136-0016東陽2-1-1保健所健康推進課公害保健係へ 03-3647-9564 03-3615-7171 ※落選の場合のみ2月27日(金)までに郵便で通知



認知症本人・家族ミーティング

本人と家族に分かれて日々の思いを自由に語り合える場です。職員がサポートしますので、初めてでもお気軽にご参加ください。

日2月26日(木)10:00~11:30

場亀戸福祉会館

対認知症の方とその家族

※いずれか一方のみでの参加も可能

定20人(申込順)

申2月5日(木)から区HP申込、電話またはFAXに9面申込記入例の①~④と⑤参加人数を記入し、地域ケア推進課公害保健係へ 03-3647-4398 03-3647-3165



環境・まちづくり

このほかの記事は11面こうとうインフォメーションに掲載

マンション再生セミナー

「マンションの建替えを学ぶ～制度・流れ・事業のポイント等について～」

築40年を超えるマンションでは、建築物の老朽化や修繕費の増加、区分所有者の高齢化に伴う管理組合役員の担い手不足など、さまざまな課題を抱えています。マンションの建替えや改修等に向けた一歩として、マンション再生の手法の一つである「建替え」について基本的な内容を専門講師がわかりやすく解説します。初めて「建替え」に触れる方や、既に検討を始めている方など、どなたでも参加いただけます。ぜひお申し込みください。

日2月28日(土)10:30~12:00(受付10:00~)

場江東区文化センター

対分譲マンションの管理組合役員および区分所有者など

定60人(申込順)

講師松本久長(一級建築士、マンション管理士、URCAマンション建替えアドバイザー、(社)再開発コーディネーター協会正会員)

申2月5日(木)~18日(水)に区HP申込または住宅課住宅指導係(区役所5階1番)に電話・窓口で 03-3647-9473 03-3647-9268



防災・安全

このほかの記事は11面こうとうインフォメーションに掲載

2月6日(金)11:00ごろ Jアラート全国一斉情報伝達試験を実施

複数手段での情報取得方法を確認できます。災害に備え、確認しておきましょう。

- 防災行政無線放送 ● こうとう安全安心メール
- 江東区防災ポータル・江東区防災アプリ ● 区HP
- X(旧Twitter) 防災関連情報(@koto_bosai)、江東区政全般(@city_koto)
- Facebook(@city.koto)
- LINE(@city_koto)
- ケーブルテレビ(デジタル11ch)
- コミュニティFM(88.5MHz)

※全国的な試験のため、国内の状況により中止する場合があります

問危機管理課防災危機管理係 03-3647-9382 03-3647-9651



江東5区広域避難推進シンポジウム

荒川の洪水や高潮による大規模水害が発生した際は、安全確保のため区外など浸水のおそれがない地域へ避難する「広域避難」が重要です。広域避難の必要性と実現に向けた課題や取り組みについて、基調講演やパネルディスカッションを行います。

※後日、アーカイブ配信(申込不要)も行います。視聴方法など詳しくは区HPをご覧ください。

日3月1日(日)13:00~16:00

場足立区役所(足立区中央本町1-17-1) 定80人程度(申込順)

講師片田敏孝(東京大学大学院情報学環特任教授)ほか 申区HP申込

問防災計画課防災計画係 03-3647-9584 03-3647-8440



区長が聴く

～特別編～

大久保区長コラム

今月は、区の俳句教育の第一人者である小山正見さんに「石田波郷」のお話を伺いました。戦後を代表する俳人石田波郷は、昭和21年から12年間北砂に住んでいました。砂町文化センター2階にある石田波郷記念館では、波郷の足跡が貴重な資料とともに展示されています。

石田波郷の俳句の特徴はどのようなところですか。

「それまで主流であった自然をありのまま表現する「花鳥諷詠」に対し、「俳句は文学でないのだ。俳句はなまの生活である」とし、人間性に根差した俳句を追求しました。中学校の国語の教科書にも掲載されている「バスを待ち 大路の春を うたがはず」は希望に満ちた青春性あふれる句ですし、「七夕竹 借命の文字 隠れなし」といった長年の闘病生活の中で生や死に対する心のうちを表した句も多く残しています」

戦後まもない江東区の様子多くの句に詠んでいますよね。

「はい。波郷が移り住んだ時の江東区は終戦直後で焦土と化していました。有名な「はこべらや 焦土のいろの 雀ども」のほか、息子の小学校入学に際して詠んだ「一樹無き 小学校に 吾子を入れぬ」は焼け野原となったまちの情景が浮かんできますよね。その後も、当時の江東区の風土や人々の生活を多くの句に詠みました。ちなみに、波郷と私は共通点が多くて、同じ病気で療養していたことがありますし、写真が趣味というところも一緒なんですよ」

小山さんには学校の授業や中学校俳句部での指導をはじめ、長年こどもたちへの俳句普及に取り組んでいただいている。こどもたちが気軽に俳句に親しんでいるのはすごくうれしいです。

「江東区は松尾芭蕉と石田波郷という2人の偉大な俳人ゆかりの地ですから、こどもたちに少しでも俳句に触れてほしいという思いで取り組んできました。俳句文化がこれからも受け継がれていくといいですね」

「石田波郷」



▲小山さんと石田波郷の等身大(約180cm!)パネル

小山さんありがとうございました! 石田波郷が愛した「俳句のまち江東区」をさらに盛り上げていきます。

最後に、小山さんと私の俳句をご紹介。俳句は風景や心情を色彩豊かに伝え、時間や場所を超えて受け手の心に響きます。皆さんもちょっと一息ついて日常を俳句に詠んでみてはいかがでしょうか。

あやかる 四葩のやうな をみなか
※四葩(よひら)・あじさい
小山正見

よひら見て ポテトほおばる 水辺かな
大久保朋果

大久保区長と小山さんが出会った旧中川
あじさい祭りについてそれぞれ一句